

地球温暖化対策実施状況報告書

2019 年 月 日

（報告先）
横浜市長

住所 神奈川県横浜市神奈川区西神奈川1-13-10
氏名 社会福祉法人恩賜財団済生会支部
神奈川県済生会
支部長 正木 義博

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	社会福祉法人恩賜財団済生会 理事長 炭谷 茂				
事業者の主たる 事業所の所在地	東京都港区三田1丁目4番28号 三田国際ビルディング21階				
主たる事業の業種	大分類	P 医療、福祉			
	中分類	83 医療業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	7,992	kl	自動車の台数	台

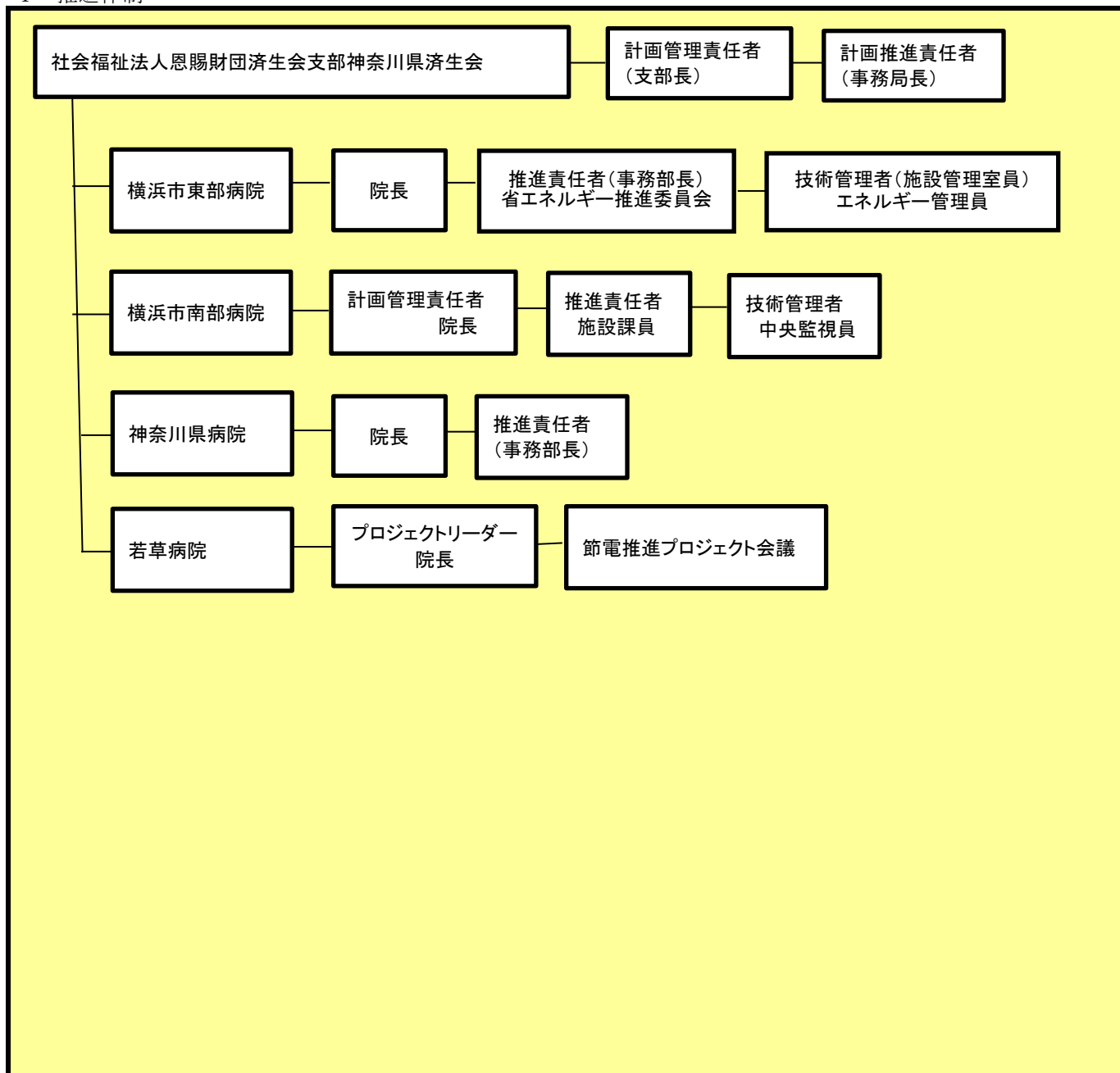
2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>〔基本方針〕 本会においては、社会的にも公共性の特に高い医療・福祉事業を営んでいる為、横浜市条例に則しつつも、利用者に支障の無い範囲、レベルでの削減に向け対応を検討していきたいと考えている。 使用設備については、開設後間もない高度医療設備保有の災害医療拠点病院、又、既にESCO事業導入により大幅な合理化を計っている病院もあり、疾病等に対するアメニティ確保の観点からも開設より数年を経過している事業所を中心に運営面を考慮しながら検討していきたいと考えている。</p> <p>〔主要なエネルギー使用設備の更新等の検討〕 ①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備 1. 空調機器、冷凍機等 ②上記①の設備を選出した理由 1. 電気使用量の大部分を占める為、省エネ対応品にて温暖化抑制に寄与する。 ③設備更新スケジュール 1. 2019年度を目標に老朽化した機器設備の更新時</p>
--

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	神奈川県済生会（個別票に記載の各事業所においても閲覧可）
	所在地	横浜市神奈川区西神奈川1-13-10 （各事業所において閲覧の場合は、個別票記載の所在地住所参照）
	閲覧可能時間	AM10～PM12時、PM1時～4時迄
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	16,463	t-CO ₂				基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後	16,190	t-CO ₂				目標原単位		t-CO ₂ /
目標年度 (2018年度)	目標排出量	16,430	t-CO ₂	削減率	0.2 %	削減率		%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 社会的にも公共性の高い医療・福祉事業を営んでいる為、利用者に支障のない範囲、レベルでのエネルギー削減に向けて更なる検討をグループ全体で検討していきたいと考えている。 省エネルギーチラシを作成し、職員へ節電の呼びかけや蛍光灯をLED化し、さらなる省エネルギーを図り温室効果ガスの抑制を行っていく。 職員にこまめな節電の協力を促し、小さな事でも出来る事から削減に寄与する。 								
事業者全体としての目標等	済生会全体としては、国の省エネルギー法に基づく1,500k1以上の事業所（病院）を中心にエネルギー管理を適切に実行していける管理体制整備に努めようとしている。								
第一年度 (2016年度)	排出量	16,719	t-CO ₂	削減率	▲ 1.6 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	16,393	t-CO ₂	削減率	▲ 1.3 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	職員や関係職員の節電省エネ意識の向上により、一定の成果を出している反面、医療機器、患者用電子カルテ他、院内電子機器の増加等により、若干の増加傾向があった。引き続き、無駄な待機電力の削減や間引き照明等の工夫をして、電力増加の歯止めをしていきたい。								
第二年度 (2017年度)	排出量	16,753	t-CO ₂	削減率	▲ 1.8 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	16,121	t-CO ₂	削減率	0.4 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	節電・節水・ゴミ廃棄物等の削減・職員への環境教育								
第三年度 (2018年度)	排出量	16,045	t-CO ₂	削減率	2.5 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	15,220	t-CO ₂	削減率	6.0 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	夏季に蒸気式冷凍機を主力として運用していたが、機器の不具合により能力低下しており、ガス式および電気式の運用により補ったためエネルギー使用量が増加した。（南部病院）								
計画期間全体の排出状況に関する説明	ESCO事業により主要なエネルギー設備更新・改修が済み、新たな省エネルギーの余地が少ない中、機器の運用見直し等で省エネルギーを図った。しかし、機器の不具合が続いたため再生可能エネルギーの活用も十分できず、温室効果ガス削減目標を達成できなかった。一方、2018年11月より約5,300本の蛍光灯をLEDに更新したほか、トップランナートランス4台の更新も行き、節電に取り組んだ。（南部病院）								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂				t-CO ₂ /	
目標年度 (年度)	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k l 以上	1	7,883	1	8,069	1	7,934	1	8,041
1,500k l 以上 3,000k l 未満	1	5,667	1	5,648	1	5,726	1	5,891
500k l 以上 1,500k l 未満	2	2,755	2	2,851	2	2,894	1	1,791
500k l 未満	3	158	3	151	3	199	4	322
合計	7	16,463	7	16,719	7	16,753	7	16,045

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度							
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	7/7	—	年度		実施済	7/7	—	年度		実施済	7/7	—	年度		
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	1/7	—	2018年度	平成28年度以降対応更新設備対象物検討	実施中	1/7	—	2018年度	平成28年度以降対応更新設備対象物検討	実施中	1/7	—	2019年度		2019年度以降対応更新設備対象物検討
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	2/7	—	2018年度	平成28年度以降対応管理台帳等の未整備の為	実施中	2/7	—	2018年度	平成28年度以降対応管理台帳等の未整備の為	実施中	2/7	—	2019年度		2019年度以降対応管理台帳等の未整備の為
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	3/7	—	2018年度	平成28年度以降対応調光、消灯等不要な照明の運用未整備の為	実施中	3/7	—	2018年度	平成28年度以降対応調光、消灯等不要な照明の運用未整備の為	実施中	3/7	—	2019年度		2019年度以降対応調光、消灯等不要な照明の運用未整備の為
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施中	実施中	1/4	—	2018年度	平成28年度以降対応管理台帳等の未整備の為	実施中	1/4	—	2018年度	平成28年度以降対応管理台帳等の未整備の為	実施中	1/3	—	2019年度		2019年度以降対応管理台帳等の未整備の為
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施中	実施中	3/4	—	2018年度	平成28年度以降対応図面書類の未整備の為	実施中	3/4	—	2018年度	平成28年度以降対応図面書類の未整備の為	実施中	2/3	—	2019年度		2019年度以降対応図面書類の未整備の為
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	設備なし	非該当	/	—	年度	設備なし	非該当	/	—	年度	設備なし	
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施中	実施中	3/4	—	2018年度	平成28年度以降対応定期清掃実施、報告書未整備	実施中	3/4	—	2018年度	平成28年度以降対応定期清掃実施、報告書未整備	実施中	2/3	—	2019年度		2019年度以降対応定期清掃実施、報告書未整備
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施中	実施中	3/4	—	2018年度	平成28年度以降対応状況管理表未整備	実施中	3/4	—	2018年度	平成28年度以降対応状況管理表未整備	実施中	2/3	—	2019年度		2019年度以降対応状況管理表未整備
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施中	実施中	2/4	—	2018年度	平成28年度以降対応稼働台数調整、管理標準未整備	実施中	2/4	—	2018年度	平成28年度以降対応稼働台数調整、管理標準未整備	実施中	2/3	—	2019年度		2019年度以降対応稼働台数調整、管理標準未整備
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施中	実施中	3/7	—	2018年度	平成28年度以降対応温度計設置、運転時間見直し	実施中	3/7	—	2018年度	平成28年度以降対応温度計設置、運転時間見直し	実施中	3/7	—	2019年度		2019年度以降対応温度計設置、運転時間見直し
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度	設備なし	非該当	/	—	年度	設備なし	非該当	/	—	年度	設備なし	
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施済	実施済	7/7	—	年度		実施済	7/7	—	年度		実施済	7/7	—	年度		
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施中	実施中	2/7	—	2018年度	平成28年度以降対応対象機器の運用方法未整備	実施中	2/7	—	2018年度	平成28年度以降対応対象機器の運用方法未整備	実施中	2/7	—	2019年度		2019年度以降対応対象機器の運用方法未整備
	15	機器性能管理	設備	実施中	実施中	(設備の種類)ボイラ・冷凍機 8/10	—	2018年度	平成28年度以降対応機器の効率を示す資料等未整備の為	実施中	(設備の種類)ボイラ・冷凍機 8/10	—	2018年度	平成28年度以降対応機器の効率を示す資料等未整備の為	実施中	(設備の種類)ボイラ・冷凍機 8/10	—	2019年度		2019年度以降対応機器の効率を示す資料等未整備の為
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	実施中	実施中	(設備の種類)冷凍機 2/4	—	2018年度	平成28年度以降対応冷水出口温度適正管理した調整記録未整備の為	実施中	(設備の種類)冷凍機 2/4	—	2018年度	平成28年度以降対応冷水出口温度適正管理した調整記録未整備の為	実施中	(設備の種類)冷凍機 2/4	—	2019年度		2019年度以降対応冷水出口温度適正管理した調整記録未整備の為
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	実施中	実施中	(設備の種類)ボイラ 0/2	—	2018年度	平成28年度以降対応(東部)空気比を示す資料未整備の為	実施中	(設備の種類)ボイラ 0/2	—	2018年度	平成28年度以降対応(東部)空気比を示す資料未整備の為	実施中	(設備の種類)ボイラ 0/2	—	2019年度		2019年度以降対応(東部)空気比を示す資料未整備の為
	18	排出ガス温度の管理	設備	実施中	実施中	(設備の種類)ボイラ 0/2	—	2018年度	平成28年度以降対応(東部)排ガス温度を示す資料未整備の為	実施中	(設備の種類)ボイラ 0/2	—	2018年度	平成28年度以降対応(東部)排ガス温度を示す資料未整備の為	実施中	(設備の種類)ボイラ 0/2	—	2019年度		2019年度以降対応(東部)排ガス温度を示す資料未整備の為
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	実施中	実施中	(設備の種類)ボイラ・ヘッダ 0/2	—	2018年度	平成28年度以降対応(東部)保温化工事未実施の為	実施中	(設備の種類)ボイラ・ヘッダ 0/2	—	2018年度	平成28年度以降対応(東部)保温化工事未実施の為	実施中	(設備の種類)ボイラ・ヘッダ 0/2	—	2019年度		2019年度以降対応(東部)保温化工事未実施の為
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備なし	非該当	/	—	年度	設備なし	非該当	/	—	年度	設備なし	
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	実施中	実施中	(設備の種類)コンプレッサ 2/3	—	2018年度	平成28年度以降対応要求する圧力を示す資料の未整備の為	実施中	(設備の種類)コンプレッサ 2/3	—	2018年度	平成28年度以降対応要求する圧力を示す資料の未整備の為	実施中	(設備の種類)コンプレッサ 2/3	—	2019年度		2019年度以降対応要求する圧力を示す資料の未整備の為
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	実施中	実施中	(設備の種類)コンプレッサ 2/3	—	2018年度	平成28年度以降対応コンプレッサ室内温度の管理	実施中	(設備の種類)コンプレッサ 2/3	—	2018年度	平成28年度以降対応コンプレッサ室内温度の管理	実施中	(設備の種類)コンプレッサ 2/3	—	2019年度		2019年度以降対応コンプレッサ室内温度の管理

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度							
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度		
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度		
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	LED電球	2010年度	4W, 6W	白熱電球より高効率照明の確保、節電にも寄与
2	コージェネレーションシステム	2007年度	ガスエンジン発電機350kw×2	省エネ効果（1次エネルギー換算）、CO2削減効果
3	直管型LEDランプ	2012年度	25W	白熱電球より高効率照明の確保、節電にも寄与
4	空調制御システム	2014年度	インバーター装置A1000 30.0KW	強弱自動制御による節電効果
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	722	東京電力エナジーパートナー（株）
2	高効率コージェネの利用	2018年度	横浜市東部病院	103 t-co2	総合エネルギー効率=65.6% 省エネ率=21.1%
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	ゴミの分別化。（他ペットボトルキャップ分別収集（ワクチン支援）） 軽装による職員執務。（クールビズ 期間：5月1日～10月31日） こまめな節電（各部署毎の節電、エアコン温度の管理等） 省エネ照明、器具の切り替え
計画期間内に実施する対策	
第一年度実績	ゴミの分別化、軽装による職員執務（クールビズの徹底）
第二年度実績	節電・節水・ゴミ廃棄物等の削減・職員への環境教育
第三年度実績	ゴミ廃棄物等の削減・職員への環境教育（ごみの分別・クールビズの徹底）

14 実施状況等に対する自己評価

環境教育として、環境省の推進に基づいたクールビズの推進（ポスターの掲示等）。 省エネ照明、高効率器具への切り替え等により、従来よりもエネルギー消費を抑えられている。 職員及び内部で勤務する委託業者職員にも省エネ意識向上、節電への協力を今後も推進していく。
